



会報

WEEKLY REPORT

奉仕しよう みんなの人生を豊かにするために

2021-22 R.I.会長

シェカール・メータ

第2500地区第6分区帯広北ロータリークラブ

会長/深井弘美

副会長/山本淳

幹事/川端正幸

[四つのテスト] 1. 真実かどうか 2. みんなに公平か 3. 好意と友情を深めるか 4. みんなのためになるかどうか

第3022回 例会報告

2021.11.12

●例会日/金曜日 <12:30~13:30>
●例会場/ホテル日航ノースランド帯広
●事務局/帯広市西3条南9丁目 帯広経済センタービル4F
TEL 0155-25-7347

■点 鐘

山本 淳 副会長

■開会宣言

■ロータリーソング (奉仕の理想)

■ゲスト紹介

RI第2500地区 第6分区ガバナー補佐 合田 倫佳 様
第6分区IM実行委員長 和田 賢二 様
ガバナー補佐セクレタリー 伊藤 秀敏 様

■会長挨拶



今日は深井会長が千葉県で関口会員と一緒に検査のため、欠席いたしておりますので代わりに挨拶を行いたいと思います。

挨拶のネタ探しに数少ないロータリーの冊子を読んでいたました、こんなことが書いてありました。

「ロータリーの終局の目的は人間関係を改善することにより、よりよい社会を作り、平和な世界を築くために貢献することにある。その人間関係の改善のためには一人一人の人間の善意を呼び起こし、奉仕の理想を発揚する必要がある。この奉仕の精神は人間同士が深い信頼と友情によって結ばれたときに初めて発揚できるものですから、ロータリー運動の出発点は親睦活動にある。」と書かれております。

最近ではコロナ過により夜間例会も全くない状態にあります。しかし、週一回の例会出席によって親睦は生まれます。例会の1時間はロータリアンの訓練の場でもあります。楽しみながら行うことが必要であり、楽しい例会であることが必要だと思えます。例会の1時間だけでなく例会前後の時間も大切にできたらいいと思います。出席率の向上は大切な事項であると改めて認識いたしました。そういった意味で中島プログラム委員長と石井親睦委員長にはこれからも大いに活躍していただきたいと思えます。

以上、副会長の挨拶と致します。

■会務報告

川端 正幸 幹事

帯広北RC、年次総会開催のご案内

日時 令和3年12月3日(金)午後0時30分(例会時)

場所 ホテル日航ノースランド帯広

RI第2500地区 第6分区ガバナー補佐 合田 倫佳 様

第6分区IM実行委員長 和田 賢二 様

■ニコニコボックスの発表

山本 淳 副会長

妻の誕生日に記念品を頂き有難うございました。

荒木 樹 会員、高橋 幸 会員

妻の誕生日・結婚記念日に記念品を頂き有難うございました

阿部 直之 会員、

昨日、娘が入籍しました。

石岡 幸雄 会員、

入会20年で記念品有難うございました。

松本 健春 会員

元気になって復帰しました。有難うございました。

細川 吉博 会員

■プログラム

中島 慎也 プログラム委員長

【RI第2500地区ロータリー財団セミナー】について

第1地区 ARRFC 細川 吉博パストガバナー 様

皆さん、こんにちは。

今日のお話ですけど、実は第2500地区のロータリー財団セミナーで話した内容を、工藤委員長からもう一回話してくれない



だろうかということで話しております。

その中で、まず先ほどの紹介で聞き慣れない言葉かもしれませんが、ARRFCという話があります。これはあの3年単位の任期でありまして、実は今年度が私最後なんですけれども、やった仕事と言いますと昨年度に2500地区でお話したこと、今年度2500地区で話しただけでほとんど何も話していない。羽生さんがARRFCという財団コーディネーターの人で、そのまあ子分みたいな感じでおります。

日本のロータリーというのは、第1地域2地域3地域という風になっています。

ロータリーの友にも書いてありますけれども、北の方からだいたい茨城ぐらまでの所が第1地域、東京中心に第2地域、関西以西が第3地域という風になっております。ロータリーのいわゆるそのチームリーダーの言うような言い方をロータリーではしているんですけども、大きくロータリーコーディネーター(RC)とロータリー財団地域コーディネーター(RRFC)、そしてロータリー公共イメージコーディネーター(RPIC)とポリオ根絶コーディネーター(ERNC)あと恒久基金/大口寄付アドバイザー(E/MGA)に大体大きく分かれております。

世界のロータリーの目標としては、年金基金で1億2500万、ポリオで1億5000万。恒久基金というので9500万ドルですけれども、その他の大口寄付を合わせて全体として4億1000万ドル。

国際ロータリーの目標、そして日本に対する目標であります。で、それらのロータリーも目標に対して、日本のロータリーとして、どのような目標を立てているかと言いますと年金基金は1人当たり150ドルお願いしたいポリオプラス基金に対しては1人当たり30ドル、恒久基金は冠名基金を各地区で1件以上作って欲しい、大口寄付としては、日本全体で100件、AKSを10名というような形になっております。

まず年次基金、1人当たり年間150ドルという目標を立てております。皆さんもご存じのように年次基金というのはシェアシステム、またワールドハンド14重点分野に使われるわけで、寄付されたものをDDFに50%、ワールドパントに50%というような形で50%ずつシェアするという形になっております。

もう1つは恒久基金であります。これは冠名基金を各地区に1軒以上を作ってほしいということでもありますけれども、ええ、恒久基金は皆さんもよく知っているかと思えますけれども、まあ、皆さんのご寄附は直接使うことはなく、それを投資に使いながらその収益を持ってええ利用していると言う。それをシェアしているというような形になっていきます。でその収益はロータリーの重点分野の平和センターに行ったシェアとかワールドファンドに使っているという形になりますけれども、恒久基金のお金は皆さんにベネファクター認証の対象になり、PHF認証の対象にはなりません。

もう1つはシェアーの中でDDFがあるけれども、実はこれ地区で利用可能なDDFというような形になっております。

もう1つはグローバル補助金地区補助金の活用促進という形になってきております。ええ、グローバル補助金地区補助金というのは、補助金の種類としてご存知かと思えますけれども、グローバル補助金はどのようなものに使われるかと言いますとロータリー重点分野に該当して持続可能かつ、測定可能な成果をもたらす大規模な国際活動を支援するというようになっております。これは人道的プログラムまた、大学院レベルの留学に対する奨学金で、皆さんもあの何回かきておりますけど、VTTの初期を研修チームなどに使われるという形でグローバル補助金は最低3万ドル最高



は40万ドルという形になってきております。このグローバル補助金に対してはDDFに対して今80%のワールドファンドの上乗せという形になってきますので、まあ実際的には本当はこれ100%だったけれども。ほぼ倍近いお金がそのDDFの中で利用した場合に、最終的に使えるお金になるという形になってきております。

ロータリー財団の補助金という形の中で言いますと86,677,399ドルを2018年授与してあります。どういふところに主に使っているかと言いますと疾病の予防あと、安全な水の提供、教育の支援等になっております。2500地区でもタイのクラブにおいて、疾病の予防で医療機器の贈呈をしておりますし、今、釧路などを中心に安全な水の提供という形で、ワールドロータリーの財団としての補助金を利用している現状があります。また、中国補助金というのは、比較的規模の、小さい短期的な活動を支援する。で、各地区が独自に選べるものであります。そうには人道的プログラムは、奨学金、青少年プログラム。職業研修チームの派遣という形になっております。

実はDDF地区財団活動資金の50%までを地区補助金として毎年申請可能と言う形になっております。

まあ、帯広北クラブでやっているちびっこアイスホッケー大会なんかもこれにあたりますけれども。まあ、そのような目標。例えば青少年プログラムという形の中で、是非やっぱりこういうクラブとして活発、あの活発にこういうものを使って行ける機会があればと言うふうに思っています。

その他の補助金ということで、まだ他にもありまして寄付者が選んだプログラムを支援する。とまあ、あの危惧する人が何人も補助プログラムにするかということをしたりと、なんかしております。まあ、いわゆるその中にも冠名自分の名前をつけた冠名寄付というのもございます。そういうのはあの先ほど持たれているように年次基金の目標には算入されなく、また1人当たりの年次基金寄付にも算入されないものになってきております。

ここから、ロータリー財団の使命というものを今一つ確認したいと思えます。「ロータリアンが健康状態を改善し、教育の支援を高め、貧困を救済することを通じて、世界理解、親善平和を達成できるようにすること」これがロータリー財団の使命になります。

そのような目標の中でやっておりますけれども、私たちの寄付というのはどのように世界で使われているんだらうかというふうに考えてみますと、私たち60セントの寄付はほとんど70円80円の寄付で、1人の子どものポリオを守る、ポリオのワクチンがそれを投与する過程に使われると言うことでありますし、50ドルを使うことによって安全な水の提供ができる。また、500ドルを使うことで、いじめ撲滅のキャンペーンを立ち上げることもできるという形になってきております。

来年の7月からでありますけれども、ローターアクトクラブは地区補助金やグローバル補助金を申請できるという形になっております。まあ、何年前からローターアクトもロータリアンだというような形の中になってきておりますけれども、地区の中で、まあ今後寄付の地区内の寄付推進や配分方法について、あとまた地区からのローターアクトの参加資格認定の承認などにつきまして、検討していかなくては行けないわけです。

もう1つ、先ほどちょっと出ました。RRFCロータリー財団地区コーディネーターのお話なんですけれども、どういふことを目的にしているかと言いますとポリオプラスへの支援を促しましょうと言うことと、ロータリー財団への寄付、特に年次基金に関してクラブと地区に遅延を提供しましょう。そしてロータリー補助金についてクラブや地区への情報を提供しましょうと言う形でやります。

2021年、22年度の私たち第一地域RRFCの目標であります。こ

れは私たち地区の目標ですけれども、年次基金へのDDFよりポリオに寄付するクラブを10%増やしましょうという形でやります。全体としては結構3割増やしたいということで、グローバル補助金に参加する戦略をぜひ三つ、地区として持っていたいただきたい。つまり、地球の中でグローバル補助金を使っている事業を三つやってほしいという形であります。あと、ポリオ根絶活動の補助金、ロータリー平和センターというのは、国際基督教大学のところでやっておりますけれども、そのロータリー平和センター、そして重点分野といった財団活動を広く紹介しロータリーのインパクトに対する認知を高めましょうと言うことと、DDFの使用を少なくとも5%増やしましょうと言う形でやります。

ロータリー財団に関する変更点です。

ポリオプラスへの地区財団補助金50%の寄贈目標に対する上乗せが50%になります。ポリオプラス地区財団ですね。今まではほとんど100だったんですけども、それがちょっとやっぱりいろいろ資金的な意味で厳しいということで減らしております。先ほどちょっと言いましたけれども、グローバル補助金のためのワールドファンドからの上乗せは100%から80%になっております。あと年次寄付の5%が今ではワールドファンドから引かれていたけれどもDDF、ワールドファンドの両方から5%運営費として引かれる形になっております。4番目は今まで言ったように、繰越は5%のみという形になっております。そういふ中で、私たちがロータリーとして、どのようなことをやっているのかということでもあります。これはあの私もガバナナーの時から言っているんですけども私たちこのロータリー財団の活動をしますと、どうしてもお金を集めている団体とかねくれみたいな感じのところがかかりあります。まあ、ただ集めるだけではなくて、やはりどういふような活動をしているのかという活動をする可能性があるのかということもぜひクラブ。使っている活動とかグローバル補助金を使っている活動をやっていただきたいということでもあります。そして、そのお金の遣い方を皆さんにご理解いただくことによって、寄付を集める側のところもぜひ理解していただければありがたいと言うふうに思っております。あと、もう1つですけれども、小さいクラブなんかにおいてはなかなかグローバル補助金なんかうちらには関係ないよっていうクラブもあります。

まあ私はあのクラブの規模には全然関係なく、ぜひ多くのクラブにおいてグローバル補助金を積極的にチャレンジしていただきたいというふうに思っております。

私たちのクラブも実はタイに、もう5・6年前になりましたが医療機器を送ったことはありますけれども、是非やはりこれはあのグローバル補助金を使っているイベントをやっていただきたいというふうに思っています。ただ、相手があることですから、なかなかその相手をみつけてというのは難しいですけども相手につきましてはロータリー財団地区の委員会の中で、まあタイとかバリ島のところとか、いろいろところでの相手のところの情報は来ております。ですから、クラブの中で財団委員会を中心に、こういうものを対してやってみないかという気持ちがあれば、これに対してはきつといろいろな形での次のあれもできるし、まあ決して言って英語を話す必要もなければ、このような形になるだけでもできていることだと言う風に思っております。ええまあ2500地区まあ、帯広北クラブにおきましては、本当に地区補助金、年次寄付に対しましても皆さんのご理解をいただきまして、大変いい形でつないでおりますけれども、是非、今後とも財団に対して積極的にご理解、また参加していただければありがたいというふうに思っております。丁度時間となりました。あの財団の話で、ちょっと前にスライドを使ってですけども。また今後とも皆さんと一緒に活動していければというふうに思っております、本日のことはありがとうございました。

■ 次週のプログラム予定

「ゲスト卓話又は会員卓話」

■ 閉会宣言

■ 点鐘 山本 淳 副会長

例会案内

〈月曜日〉 広尾RC:日高信金広尾支店 〈水曜日〉 帯広RC:ホテル日航ノースランド 〈木曜日〉 足寄RC:足寄銀河ホール21
帯広南RC:北海道ホテル 上士幌RC:川村福祉会館 清水RC:清水町中央公民館
〈火曜日〉 芽室RC:めむろ一どセミナー 音更RC:ハピオ木野 帯広西RC:北海道ホテル
帯広東RC:ホテル日航ノースランド

■ 出席報告/石井 宏治 出席委員長

会員数	計算に用いる 会員数	ホームクラブ 出席数	マークアップ	欠席	出席率